

I 総務 1 沿革

年 月	山 口 県 畜 産 試 験 場 (山口県美祢市伊佐町河原)	山 口 県 育 成 牧 場 (美東町太田)
昭 53(1978)年 4 月	山口県畜産試験場と改称	
58(1983)年 4 月	機構改革により、課(総務)、1 室(企画連絡)、2 部(大家畜、中小家畜)制	
61(1986)年 5 月	牛の受精卵移植技術事業の開始	
平 2(1990)年 3 月	系統豚「アキヨシ L」(昭和 53~60 年造成)種豚登録協会から認定	
4 月	飼料分析施設整備、受精卵供給棟新築	機構改革で秋吉台団地が総務、哺育育成係、衛生係で再スタート
4(1992)年 1 月	機構改革により、山口県育成牧場岩永台団地を編入	公共育成牧場整備事業完了
6(1994)年 3 月	1 課(総務)、2 室(企画連絡、畜産生物学)、2 部(大家畜、中小家畜)制	用排水施設整備 2,031m、草地整備改良 19,2ha(旧岩永台団地 9.8ha 含む)、哺育舎新設 1 棟、看視舎新設 1 棟、堆肥舎新設 1 棟、バンカーサイロ 2 基
6(1994)年 3 月	畜産加工研究棟新築	基牧場用機械等整備完了
9(1997)年 3 月	調製加工処理施設新設(飼料用)	
11(1999)年 3 月	機構の一部改正により、生物学班、繁殖班を新設	
11(1999)年 3 月	汚水処理棟新設	
11(1999)年 3 月	酪農牛舎(フリーストール)及び自動搾乳処理施設新設	
11(1999)年 3 月	室の改称、部の再編、科の廃止を行い、組織階層のフラット化を実施	
13(2001)年 4 月	室の改称、部の再編、科の廃止を行い、組織階層のフラット化を実施	機構改革により、33 年間の育成牧場の歴史を閉じる
13(2001)年 7 月	機構改革により、育成牧場を編入	
17(2005)年 3 月	2 課(総務課、育成業務課)、1 室(企画情報室)、2 部(改良増殖部、飼養技術部)制	
18(2006)年 6 月	最初の山口型放牧(移動放牧)の実証試験を柳井市で実施	
17(2005)年 3 月	岩永台の住友大阪セメント(社)社有地 60ha を返還	
4 月	住友大阪セメント(社)の補償工事により、肥料庫 1 棟、糞置き場 1 棟、堆肥舎 1 棟、乾燥舎 1 棟、管理道路の舗装 360m 及び草地 32.6ha を整備	
4 月	住友大阪セメント(社)の補償工事により、送水設備(受水槽、高架水槽、送水管 3,600m)を整備	
6 月	平成 16 年度優秀畜産技術者表彰特別賞を澤井利幸前放牧管理グループ総括が受賞(「山口型放牧」)	
11 月	低脂肪ソーセージとその製造法で発明特許を取得	
18(2006)年 6 月	山口県乳用牛群検定情報分析センターを設置	
10 月	山口県畜産共進会第 28 回ホルスタイン共進会において、育成業務課で育成したコトブキモーテータータイデイ号がグランドチャンピオン(農林水産大臣賞)	

年 月	山口県農林総合技術センター畜産技術部
平 19(2007)年 4月	機構改革により山口県農林総合技術センター畜産技術部として新たにスタート 酪農に関する飼養研究を廃止(乳用牛飼養を廃止) 系統豚「アキヨシL」の認定(種豚登録協会)を取り消し、系統維持を廃止
10月	「山口県畜産試験場百年誌」を関係者により自費出版
20(2008)年 3月	放牧牛のための「携帯用飼料」の実用新案を登録、受理
9月	黒柏を活用したオリジナル地どりの雄系種鶏「やまぐち黒鶏」を公表
21(2009)年 2月	宇部興産の事業拡大に伴い、市有地(63,322m ²)の返還、県有地(12,536m ²)を売却
24(2012)年 3月	種鶏交配舎新築
6月	雄系種鶏「やまぐち黒鶏」の供給開始
26(2014)年 3月	育成業務課哺育部門の河原移転に伴う酪農牛舎改築
4月	育成業務課哺育部門を河原に移転、哺育・育成を開始
7月	定期の北海道預託を開始
27(2015)年 3月	育成業務課の育成部門を廃止

2 位置及び自然条件

1) 本 場(河原)

(1)位 置

山口県美祢市伊佐町河原 1200(東経 131 度 15 分 9 秒、北緯 34 度 11 分 4 秒)

J R美祢線美祢駅から東北へ 8 キロ、山陽新幹線新山口駅から西北へ約 20 キロの地点にある。

(2)自然条件

地勢は、秋吉台から西方に延びる岩永台及びその南側山麓。標高 90～380m。

地質は、古生層の石灰岩に由来するカルスト台地で、強い粘質土壌。

気象は、年平均気温 14℃、年降水量 2,000mm。

2) 育成業務課

(1)位置

当課は、山口県のほぼ中心にあるカルスト台地秋吉台(標高 260m～ 375m)の美祢市美東町内にあり、

(2) 自然条件

カルスト台地特有のドリーネ、カーレン(石灰岩柱)等の障害物が随所に散在した極めて起伏に富む丘陵地で、これらの地形が草地管理を阻害する大きな要因となっている。土壌は石灰岩を母材とする赤色粘土 土質土壌である。

(3)植生

牧草地は、イタリアンライグラスを基幹草種としているが、一部夏作にミレットを栽培している。

野草地は、火入れの慣行により、ススキ、ネザサなどにコハギ等が混生する草原をなしている

3 用地・施設概要

1) 用地面積

総面積	4,952,877.90 m ²		
県有地	176,678.90 m ²		
敷地・宅地	33,237.23 m ²	雑種地・山林	9,093.00 m ²
畑 地	108,843.78 m ²	原 野・堤	3,671.85 m ²
田 地	4,894.00 m ²	道 路 敷	17,992.04 m ²
借用地(原野ほか)	4,776,199.00 m ²		

2) 営造物

(1) 建物

名 称		棟数	面積(m ²)	年度	名 称		棟数	面積(m ²)	年度			
牛	和舎 牛	乳牛育成舎	1	165.29	昭 15	飼 料 庫	乾燥庫	1	79.33	昭 33		
		種雄牛舎	1	658.20	〃 38		粗飼料庫	1	340.20	〃 39		
	家M 畜・ 精S 液	精液処理棟	1	263.71	〃 39		乾草給与舎	1	54.00	〃 44		
		通路棟	1	94.70	〃 39		濃厚飼料庫	1	102.01	〃 44		
		堆肥舎	1	58.32	〃 39		乾草庫	1	58.27	〃 51		
	待機 牛舎	待機牛舎	1	264.00	〃 54		飼料分析室	1	84.00	平元		
		堆肥舎	1	54.00	〃 55		調製加工処理棟	1	150.00	〃 5		
	小 計		7	867.81			小 計		7	867.81		
	舎	繁 殖 牛 舎	繁殖牛舎	1	420.00		〃 56	鶏 舎	屋外育成舎	1	130.68	昭 53
			哺育牛舎	1	315.00		〃 56		個別試験舎	1	366.12	〃 53
サイロ作業棟			1	28.00	〃 56	給温育すう舎	1		321.34	〃 53		
子牛分離舎			1	47.25	〃 59	ケージ育成舎	1		321.34	〃 53		
受供 精給 卵棟		受精卵供給棟	1	198.72	平元	単雄交配舎	1		115.20	〃 53		
		供卵牛舎	1	180.00	〃 元	物品庫	1		48.00	〃 53		
検牛 定舎		産肉能力検定舎	1	256.74	昭 44	便所棟	1		3.04	〃 53		
		種雄牛育成舎	1	223.10	〃 46	ボイラー発電棟	1		35.00	〃 53		
		間接検定牛舎	1	274.71	〃 56	ふ卵処理棟	1		80.80	〃 53		
群		酪 農 舎	酪農舎	1	985.92	〃 55	群		検査棟	1	49.72	〃 53
	酪農舎(フリーストール) 及び自動搾乳処 理施設		1	556.29	平 11	鶏ふん処理棟		1	106.83	〃 53		
	通路棟	1	17.67	昭 55	仕上乾燥舎	1		135.00	〃 53			
	搾乳舎	1	93.00	〃 55	消毒棟	1		29.72	〃 53			
	屋外給飼舎	1	60.80	〃 55	物品庫	1		97.20	〃 53			
	堆肥舎	1	56.00	〃 55	種鶏交配舎	1		345.60	平 23			
	堆肥舎	1	25.00	平 11	小 計			15	2,185.59			
	堆肥舎	2	144.00	昭 55	農 機 具 棟 群	農機具庫		1	69.42	昭 33		
	庇蔭舎	1	152.95	平 25		大農機具庫		1	351.00	〃 45		
	小 計		26	5,440.42		小 計		2	420.42			
豚 舎 棟 群	分娩豚舎	1	68.47	〃 44	岩 永 台 管 理 棟 群	事務所	1	82.62	〃 42			
	種雄豚舎	1	306.36	〃 48		事務所	1	28.89	〃 44			
	直接検定豚舎	1	263.52	〃 48		看視舎 1号	1	139.32	〃 42			
	種雌分娩豚舎	1	290.90	〃 51		看視舎 2号	1	50.22	〃 42			
	小 計		4	929.25			飼料庫	1	16.20	〃 42		
管 理 棟 群	旧事務所	1	203.30	〃 27	飼料庫	1	80.00	〃 55				
	本館棟	1	1,914.18	〃 54	大農具舎	1	168.00	〃 42				
	畜産加工研究棟	1	152.95	平 3	大農具舎 2号	1	200.00	〃 54				
	小 計		3	2,270.43		乾草庫	1	192.00	〃 42			
	小 計		3	2,270.43		乾草調整庫	1	102.00	〃 43			

名 称	棟数	面積(m ²)	年度	名 称	棟数	面積(m ²)	年度		
岩管 永理 台棟 群	文書倉庫	1	19.44	昭42	そ の 他	車庫	1	74.38	昭27
	車庫及び洗車場	1	98.00	//42		受水槽棟	1	31.08	//53
	車庫2号	1	139.00	//52		堆肥舎	1	340.00	平元
	小計	13	1,315.69			肥料庫	1	30.38	//16
						堆肥庫	1	21.93	//16
公棟 舎群	一般公舎	2	594.56	//39	堆肥舎	1	307.29	//16	
	一般公舎倉庫	1	16.44	平16	乾燥舎	1	425.00	//16	
	場長公舎	1	84.00	//43	小計	7	1,230.06		
	場長公舎倉庫	2	24.62	//43	合計	85	15,033.69		
	小計	6	719.62						

名 称	棟数	面積(m ²)	年度	名 称	棟数	面積(m ²)	年度	
育管 成理 業棟 務群 課	診療所	1	75.19	昭43	哺育舎3	1	210.00	平3
	事務所	1	162.15	平3	飼料庫	1	149.40	昭43
	乾草庫	1	196.80	昭43	育成牛舎	1	409.75	平4
	大農具舎1号	1	249.20	//43	堆肥舎	1	432.05	//4
	大農具舎2号	1	133.00	//55	揚水機場	1	11.43	昭51
	車庫	1	79.80	//43	パドック上屋	4	518.90	平16
	哺育舎1	1	613.34	//43	合計	17	3,422.51	
	哺育舎2	1	181.50	//55				

(2) 工作物

名 称	数量	構 造 物	年度	名 称	数量	構 造 等	年度	
サイ ロ	地下サイロ	3	15.90 m ³	昭39	ふん尿処理施設	1	ハイリアクターシステム	昭49
	タワーサイロ	1	196.00 m ³	//39	II	1	オープン処理システム	平6
	バンカーサイロ	1	45.00 m ³	//40		1	スクレーパー	//10
	II	2	286.00 m ³	//51	橋 梁	2		昭53
	スチール気密サイロ	1	459.00 m ³	//55	汚水処理施設	1	コンクリート87.03 m ²	平9
	II	1	259.00 m ³	//56	高架水槽	1	4m×5m×2m	//9
	小計	9	1,260.90 m ³		受電設備	1	引き込み用キュービクル式	//9
貯 水 槽	角型水槽	1	18.00 m ³	昭39	搾乳施設	1	搾乳ロボット	平10
	角型水槽	10	16.80 m ³	//39	汚水処理棟	1	150.98 m ³	//8
	防火水槽	1	鉄筋コンクリート	//50	哺育施設	2	哺乳ロボット	//25
	小計	12			合計	33		

(岩永台)

名 称	数量	建設年度	名 称	数量	建設年度
捕獲柵	8個所	昭42.53	危険物取扱所	1基	昭51
バンカーサイロ	450m ³ (6基)	昭42.53	汚水処理施設	1基	//54
牧柵	18,487m	昭42.52.53 55	堆肥舎	110 m ²	//55
雑用水施設	12基	//42.52	避難舎	861.6 m ² (3棟)	//42.43.54
プラットホーム	1式	//42	ピット	1基	//51
水銀灯	2基	//51	門	1基	//42

(育成業務課)

名 称	数量	建設年度	備考
捕獲柵	7 か所	昭 42. 53	
バンカーサイロ	250m ³	〃 42. 平 4	5 基
牧柵	17, 241m	〃 42. 53	
プラットホーム	1 式	〃 53	
汚水貯留槽	2 基	〃 48. 平 7	
避難舎	631. 2 m ²	〃 60	2 棟
雑用水施設	13 基	〃 42	
給油施設	50. 9 m ²	平 21	1 カ所
車両消毒槽		平 22	1 カ所

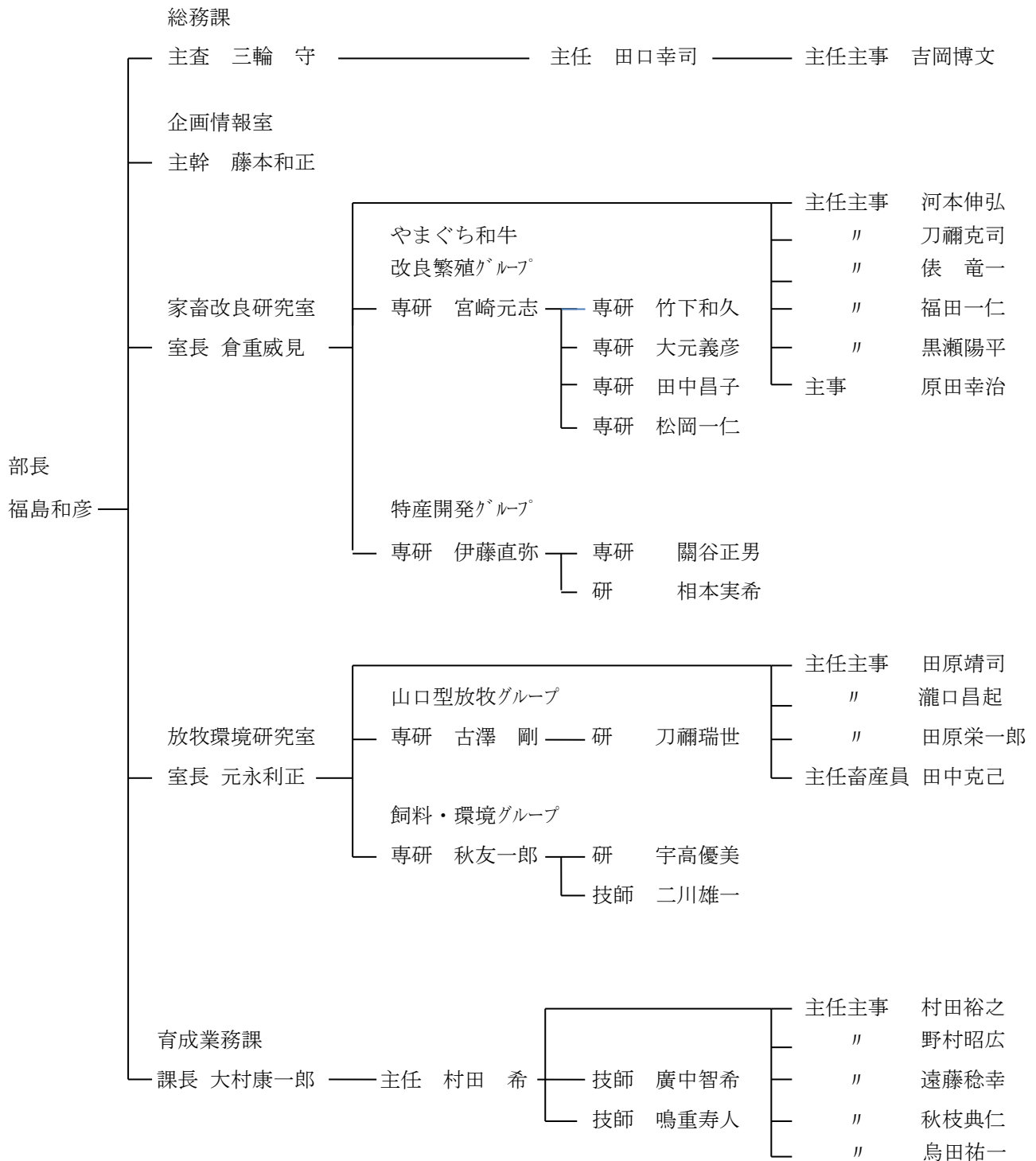
3) 機械器具類(平成 26 年度内購入分)

品 名	型 式	購入年月	価格(千円)	備 考
スポットエアコン	TRUSCO 製 100V 首振り機能付き 2 台	H26. 08. 15	164	飼料環境
飼料タンク	F R P 製 9. 8 m ³ (5t)	H26. 10. 16	294	特産開発
カウハッチ	F R P 製 4 台	H26. 10. 01	336	育成業務課
スキッドステアローダー	4 S D K 3 2 台	H27. 01. 05	3, 240	やまぐち和牛改良繁殖
フォグマスター	トライゼット 6208 2 台	H27. 02. 17	91	育成業務課
デジタル台秤	2 台	H27. 02. 23	194	やまぐち和牛改良繁殖
刈り払い機	REM2620BW	H27. 02. 23	79	飼料環境
電牧器	KD-BB3000	H27. 03. 05	41	やまぐち和牛改良繁殖
ビデオキャプチャー	GC550	H27. 03. 11	26	やまぐち和牛改良繁殖
溶接機	Shindaiwa EGW150MD-1	H27. 03. 19	238	山口型放牧
運搬車	(株)アステック運搬車 SL51DE	H27. 03. 19	501	山口型放牧
デジタルカメラ	Fuji フィルム FXXP80BL	H27. 03. 31	26	飼料環境
バーディーモアー	やまびこ B90RL	H27. 03. 31	133	飼料環境
カメラ	トローイーカム HD (監視用カメラ)	H27. 03. 31	46	山口型放牧
消石灰塗布機	MS415 L-STR-100	H27. 03. 31	400	特産開発
フォグマスター	トライゼット 6208 2 台	H27. 03. 31	91	特産開発
デジタルカメラ	Ef-ZS 27	H27. 03. 31	12	特産開発
電牧器	KD-S500-SL	H27. 03. 31	39	特産開発
スーパーフィーダー	A 5 型 2 台	H27. 03. 31	43	飼料環境

注) 価格は、百円の位を四捨五入。

4 組織・機構

1) 機構・職員



注：専研—専門研究員、研—研究員

2)業務分掌

課・室・部		分 掌 事 務
総務課		<ol style="list-style-type: none"> 1. 公有財産の維持・管理に関すること。 2. 畜産技術部の固有事務に関すること。 3. 畜産技術部の歳入、歳出に関すること（本部が処理するものを除く）。 4. 公用車の維持管理に関すること。
企画情報室		<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験研究及び研修の企画及び調整に関すること。 2. 試験研究及び研修の成果の整理と公表に関すること。 3. 畜産経営の研修に関すること。 4. 畜産に関する情報及び資料の収集及び管理に関すること。 5. 畜産に関する広報及び普及に関すること。 6. 畜産技術部の運営に係る調整に関すること。
家畜改良研究室	やまぐち和牛改良繁殖グループ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受精卵移植技術の普及に関すること。 2. 受精卵移植技術及びその応用技術の研究に関すること。 3. 受精卵の調製、保管及び配布に関すること。 4. 肉用牛の改良増殖及び育成技術の研究に関すること。 5. 場内の家畜保健衛生に関すること。 6. 牛の産肉能力の検定及び調査に関すること。 7. 肥育技術の普及に関すること。 8. やまぐち和牛の産肉性向上に関すること。 9. 家畜人工授精用精液の調整、保管及び配布に関すること。 10. みつばちの飼養管理技術に関すること。 11. 種雄牛の管理に関すること。
	特産開発グループ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地どりの造成・維持に関すること。 2. 酪農の経営技術の研究に関すること。 3. 乳用牛群検定情報分析センターに関すること。
放牧環境研究室	山口型放牧グループ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山口型放牧技術の研究に関すること。 2. 山口型放牧の技術指導に関すること。 3. 放牧牛の育成技術及び飼育管理技術の研究に関すること。 4. 放牧草地の管理技術の研究に関すること。
	飼料・環境グループ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 草地に関する施設及び作業機械の研究及び管理に関すること。 2. 試験場内で使用する粗飼料の供給に関すること。 3. 草地の造成及び管理技術の研究に関すること。 4. 飼料の品質、成分及び安全性の研究に関すること。 5. 粗飼料の栽培、利用の研究に関すること。 6. 家畜のふん尿処理技術及び飼養環境の研究に関すること。 7. 食品のリサイクルの研究に関すること。 8. 豚の飼養管理技術の研究に関すること。
育成業務課		<ol style="list-style-type: none"> 1. 哺育、育成牛の飼育管理に関すること。 2. 入退牧の手続きに関すること。 3. 飼料の需要等に関すること。 4. 草地の利用及び維持管理に関すること。 5. 機械、施設の維持管理に関すること。 6. 哺育、育成牛の飼養管に関すること。 7. 預託牛の衛生管理に関すること。 8. 入牧牛の繁殖業務等に関すること。 9. 衛生医薬品の管理に関すること。 10. 家畜農業共済に関すること。 11. 飼料用イネ栽培・利用に関すること。

5 予算執行状況

1) 歳入決算

(単位:円)

科目	調定額	収入済額	過不足額
使用料及び手数料	38,136,776	38,136,776	0
使用料	37,684,546	37,684,546	0
総務使用料	1,004,626	1,004,626	0
財産管理費	1,004,626	1,004,626	0
県有土地建物	1,004,626	1,004,626	0
農林水産業使用料	36,679,920	36,679,920	0
農林総合技術センター費	36,679,920	36,679,920	0
入牧牛	36,679,920	36,679,920	0
手数料	452,230	452,230	0
農林水産業手数料	452,230	452,230	0
農林総合技術センター費	452,230	452,230	0
人工授精	245,170	245,170	0
家畜検診	207,060	207,060	0
財産収入			0
財産売払収入			0
農林水産業財産売払収入	72,183,908	72,183,908	0
農林総合技術センター費	53,607,550	53,607,550	0
農林総合技術センター生産物(畜産物)	53,607,550	53,607,550	0
畜産振興費	18,576,358	18,576,358	0
検定生産物	10,962,358	10,962,358	0
廃用供卵牛	7,614,000	7,614,000	0
諸収入	4,463,180	4,463,180	0
受託事業収入	4,463,180	4,463,180	0
農林水産業受託事業収入	4,463,180	4,463,180	0
農林総合技術センター費	3,743,000	3,743,000	0
受託試験費	756,000	756,000	0
畜産試験研究費	2,987,000	2,987,000	0
畜産振興費	720,180	720,180	0
地域畜産総合対策費	720,180	720,180	0
雑入	598,954	598,954	0
雑入	598,954	598,954	0
雑入	598,954	598,954	0
自動販売機等光熱水費	20,171	20,171	0
預託牛育成事業	543,771	543,771	0
雑入(畜産振興課分)	1,332	1,332	0
雑入(農林水産政策課分)	33,680	33,680	0
計	115,382,818	115,382,818	0

2)歳出決算

(単位:円)

科目	予算額	決算額	過不足額
農林水産業費	195,618,166	195,618,166	0
農業費	83,128,221	83,128,221	0
農業振興対策費	900,000	900,000	0
需用費	890,000	890,000	0
一般需用費	890,000	890,000	0
役務費	10,000	10,000	0
農村青年活動促進費	8,000	8,000	0
需用費	5,000	5,000	0
一般需用費	5,000	5,000	0
役務費	3,000	3,000	0
農林総合技術センター費	82,220,221	82,220,221	0
報酬	30,004,800	30,004,800	0
共済費	5,800,194	5,800,194	0
賃金	14,717,416	14,717,416	0
旅費	6,089	6,089	0
需用費	22,218,779	22,218,779	0
一般需用費	22,218,779	22,218,779	0
役務費	1,280,288	1,280,288	0
委託料	4,106,604	4,106,604	0
使用料及び賃借料	49,055	49,055	0
備品購入費	4,001,696	4,001,696	0
負担金の補助及び交付金	35,300	35,300	0
畜産業費	112,489,945	112,489,945	0
畜産振興費	33,679,009	33,679,009	0
旅費	904,685	904,685	0
需用費	17,720,990	17,720,990	0
一般需用費	17,720,990	17,720,990	0
役務費	3,806,164	3,806,164	0
使用料及び賃借料	19,170	19,170	0
備品購入費	11,228,000	11,228,000	0
家畜保健衛生費	1,959,896	1,959,896	0
需用費	1,419,896	1,419,896	0
一般需用費	1,419,896	1,419,896	0
備品購入費	540,000	540,000	0
農林総合技術センター費	76,851,040	76,851,040	0
共済費	360,000	360,000	0
賃金	7,901,000	7,901,000	0
旅費	1,633,185	1,633,185	0
需用費	53,121,746	53,121,746	0
一般需用費	53,121,746	53,121,746	0
役務費	5,286,282	5,286,282	0
使用料及び賃借料	403,178	403,178	0
原材料費	82,991	82,991	0
備品購入費	8,062,658	8,062,658	0
計	195,618,166	195,618,166	0

Ⅱ 業 務 概 要

1 試験研究

1) 家畜改良研究室

◎ 県内黒毛和種繁殖雌牛の血統構成調査と交配に関する研究 (H24～26)

県内繁殖雌牛の血統構成や産肉成績を分析し、農家交配の判断基準を示し、交配時の判断基準及び改良の方向性を提示することで、県内繁殖雌牛の改良と、やまぐち和牛の生産基盤の強化を行う。

◎ 地域資源を活用した高品質な県産和牛肉のブランド化 (H22～26)

県産和牛の牛肉特性を把握し、地域資源を飼料として利用し、さらに付加価値を見出すため、やまぐち和牛の肉質特性とブランド化に関する研究に取り組んできた。地域資源としてくず米や海藻粉末資材を活用して肥育し、飼料摂取量や増体性、肉質への影響を調査する。

◎ 経膈採卵・体外受精による胚生産の効率化に関する研究 (H25～27)

経膈採卵(OPU)技術は、過剰排卵処理による体内受精卵採取の補完・代替技術として注目されている。しかし、卵胞発育調整などの事前処置が煩雑なため、野外での応用を考慮すると省力的な方法の開発が望まれる。本試験では、従来の発育成績を維持・向上させつつOPUプログラムの省力化を図るための技術について検討する。

◎ 乳用牛の体細胞低減に向けた管理要因の調査及び改善技術に関する研究 (H26～28)

牛群検定農家の体細胞数の全国平均は255千個/ml、本県の平均は267千個/mlであり、乳質の向上のため体細胞数の低減は大きな課題の一つである。また、乳房炎は体細胞数を増加させる大きな要因であることから、搾乳時の管理要因を調査し、体細胞数低減に向けた技術の改善を行う。

◎ ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地鶏「長州黒かしわ」の効率的、省力的な生産技術体系の確立 (H26～27)

ゲノム解析を活用した「長州黒かしわ」の簡易な雌雄鑑別技術を確立し、生産管理の省力化や商品化率の向上を図る。また、地域の資源を飼料として活用し、飼料自給率50%以上の「長州黒かしわ」の生産技術体系を確立する。

◎ 県産プレミアム地鶏の改良増殖に関する研究 (H23～32)

長州黒かしわの生産体制を維持するため、雄系種鶏の後継系統を造成する。また、雌系種鶏「ロードアイランドレッド」の産卵率向上を目指した改良を行う。

◎ 柑橘類加工残渣を活用した鶏肉及び鶏卵生産に関する研究 (H26～28)

県内の果実加工場から排出される夏ミカン等の柑橘類の加工残渣の有効利用が期待されている。そこで、本県で生産されている柑橘類加工残渣について肉用鶏及び採卵鶏に対する飼料としての有用性を検討する。

2) 放牧環境研究室

◎ 無角和種における放牧を取り入れた高付加価値牛肉の生産技術 (H23~27)

放牧適性が高く、粗飼料の利用性に優れた山口県固有品種である無角和種を用い、放牧を取り入れた育成・肥育技術を確立するとともに、放牧牛肉としての高付加価値化を図り、収益の安定化を目指す。

◎ 山口型放牧の更なる省力管理技術の確立 (H26~29)

山口型放牧の普及に資するため暑熱対策、電気牧柵の漏電防止策や冬期放牧など多面的な検討を行い、放牧牛管理の更なる省力化と中山間地域における耕作放棄地等を周年的に放牧利用するための牧養力向上技術の確立を図る。

◎ 地域資源循環システムの再構築 —山口型放牧による広域里山管理体制の確立— (H25~28)

本県では農地及び新規就業者の受け皿として集落営農法人経営体の育成を加速させているが、作業競争や年間雇用の確保が課題になっている。また、肉用牛部門においては、集落営農法人等の組織への新規導入を推進するため、比較的導入しやすい技術体系を示す必要がある。そこで集落営農全体の資源に目を向け、放牧を取り入れた肉用牛生産モデルの構築を図る。

◎ バヒアグラス草地を基盤とした飼料作物の省力的二毛作技術の開発 (H25~29)

暖地型永年牧草であるバヒアグラスの草地へイタリアンライグラス等の寒地型牧草を追播することにより、飼料作物の単位面積当たり収量を高位かつ安定的に確保するための省力栽培技術を開発する。

◎ ソルガム類及びイタリアンライグラスの品種比較試験 (H12~)

山口県に適するソルガム類及びイタリアンライグラスの生育・収量特性について比較検討し、県奨励品種選定に当たっての基礎資料とするとともに、農家における奨励品種作付け拡大を推進する。また、水田に適した夏作飼料作物の品種選定及び栽培工程の簡易化技術を検討する。

◎ 県内の食品循環資源を活用した肉豚肥育用飼料の開発 (H23~26)

食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律の施行により、食品工場等から排出される食品廃棄物は、食品循環資源として飼料等に有効利用することが求められている。そこで食品循環資源の飼料的特徴を解明し、飼料用米と組み合わせて県内産原料を最大限利用した肉豚肥育用飼料を開発する。

◎ 堆肥化時の臭気抑制及び発酵促進に効果的な副資材の利用技術の開発 (H24~26)

家畜排せつ物の堆肥化処理過程における悪臭低減は環境対策の観点から重要である。堆肥化副資材として、モミガラくん炭、生米ヌカ及びオガクズを用い、廃グリセリンを添加して、堆肥化した時の発酵促進効果および臭気低減効果を明らかにし、効果的な副資材等の利用技術を開発する。

3) 研究発表等

(1) 研究成果発表

発 表 課 題 名	備 考
・ 県内黒毛和種繁殖雌牛の血統構成、交配等の検討(大元義彦)	家畜改良研究室
・ 黒毛和種雌肥育牛への海草粉末資材の給与について(宮崎元志)	家畜改良研究室
・ 黒かしわ地鶏(長州黒かしわ)の生産性向上に向けた取組(伊藤直弥)	家畜改良研究室
・ 食品循環資源を100%活用した肉豚肥育用飼料の開発(宇高優美)	放牧環境研究室
・ 堆肥化時の臭気抑制及び発酵促進に効果的な副資材の利用技術の開発(二川雄一)	放牧環境研究室

(2) 学会等発表

発 表 課 題 名	発 表 会 名 (年月日)
・ 牛体外受精胚の少数胚培養における培養条件の検討	平成 26 年度山口県獣医学会 (H26. 8. 24)
・ ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地鶏「長州黒かしわ」の効率的、省力的な生産技術体系の確立(伊藤直弥)	平成 26 年度鶏病研究会山口県支部 鶏病技術研修会(H26. 9. 16)
・ ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地鶏「長州黒かしわ」の効率的、省力的な生産技術体系の確立(伊藤直弥)	平成 26 年度アグリビジネス創出フ ェア(H26. 11. 13)他 2 件
・ 地鶏種鶏の羽性の統一(伊藤直弥) ・ 雌雄別の地鶏生産技術の確立(伊藤直弥)	平成 26 年度国産種鶏の生産性向上 コンソーシアム成果検討会 (H27. 2. 17)

(3) 論文発表

著 者 名	論 文 表 題	登 載 誌 (巻、ページ、年)
竹下和久	種雄牛の採精及び凍結精液作成技術に関する研究	山口県農林総合技術センター研 究報告(6, p38~43, 2015)
稲吉洋裕	見島ウシの近交度を考慮した適正交配に関する検討	山口県農林総合技術センター研 究報告(6, p44~53, 2015)
稲吉洋裕	無角和種の近交度を考慮した適正交配に関する検討	山口県農林総合技術センター研 究報告(6, p54~63, 2015)
森 実希	乳牛の糞の性状及び MUN 値の長命連産に適した飼養 管理改善への応用	山口県農林総合技術センター研 究報告(6, p64~68, 2015)
刀禰 瑞世	遊休水田等を利用した放牧期間延長技術の開発	山口県農林総合技術センター研 究報告(6, p69~75, 2015)

2 事業

1) 家畜人工授精集中管理事業

昭和39年12月に、家畜人工授精メインステーションを開設し、業務を推進してきた。平成26年度末のけい養種雄牛等は下表のとおりで、優良精液の供給と精液性状の維持向上に努めた。

(1) けい養種雄牛

(平成27年3月31日現在)

品 種	名 号	登録番号 (得点)	生年月日	産 地	血統		取得 年月日	種畜証明書 番号
					父	母		
黒 毛 和 種	美津安	黒 14761 (81.8)	21. 6. 30	山口県	美津福 黒原 2748	ゆみ 黒原 1185736	22. 5. 26	11246846476
	翔 龍	黒原 5422 (83.2)	21. 8. 22	〃	美津神 黒 13233	よしひらひめ 黒原 1047465	22. 7. 28	11246507490
	関茂勝	黒原 5480 (83.9)	21.12. 7	〃	茂勝栄 黒 13487	ふくむすめ 黒 2114101	23. 1. 19	11251682984
	安清風	黒原 5479 (83.6)	22. 8. 6	〃	北平安 黒 13193	ふくこ 黒原 1063543	23. 7. 22	11260423714
	勝春茂	黒 14807 (82.0)	22. 8. 31	〃	茂洋 黒原 4257	かつはるひで 黒原 1156822	23. 7. 22	11263246914
	生美治	黒 14870 (83.3)	22.10.25	〃	美津照重 黒 13968	よしひらひめ 黒原 1047465	24. 1. 12	11002403264
	関撰久	黒原 5683 (83.3)	24. 5. 13	〃	安福久 黒原 4416	ふくむすめ 黒 2114101	25. 5. 29	11342541244
	百合美津福	黒原 5682 (84.0)	24. 7. 23	〃	百合茂 黒原 4086	よしの1 黒高 208008	25. 6. 20	11344566955
	勝海	黒原 5797 (84.4)	25. 6. 11	〃	茂重安福 黒 13028	くにみねあさ 黒原 1330922	26. 5. 16	11347318872
	照平峰	2013子山黒 1354453535	25.11.21	〃	美津照重 黒 13968	ひらみね 黒原 1250425	26.10. 2	11354453535
	滝誠東	2013子山黒 1354924981	25.12.28	〃	東平福 黒 13219	ちほみ 黒原 1363323	26.11. 6	—
	高春久	2013子受卵山黒 1408514878	26. 3. 20	〃	安福久 黒原 4416	なつめ 黒原 1561478	26. 3. 20	—

(2) 死亡・廃用種雄牛

品 種	名 号	登録番号 (得点)	生年月日	産 地	血統		取得 年月日	死亡・廃用 年月日
					父	母		
黒 毛	平成太一	黒原 5296 (82.9)	20. 8. 13	山口県	美津神 黒 13233	ひらやよい 黒原 1087567	21. 8. 17	26. 8. 21

和種	東平福	黒 13219 (83.6)	10. 3. 6	〃	平茂勝 黒原 2441	はなえ 黒 1875571	11. 9.16	26.11. 5
	高北浦	黒原 5105 (84.3)	18.10.16	〃	東平福 黒 13219	よしひろ 黒原 1081264	19.11.2 8	26.11.11

(3) 精液採取処理状況

品 種	種 雄 牛 名	採精回数(A)	製品合格採精回数(B)	製 品 本 数
黒毛和種	東平福	17	7 (41.2)	712
	美津安	26	12 (46.2)	1,129
	百合美津福	20	15 (75.0)	1,250
	関撰久	10	5 (50.0)	344
	勝海	74	40 (54.1)	1,884
	照平峰	13	8 (61.5)	532
無角和種	生高豊	2	0 (0.0)	0
和 種	秋 幸	2	0 (0.0)	0
	良志福	2	0 (0.0)	0
	萩太郎	2	0 (0.0)	0
計		167	87 (52.1)	5,851

注：() は製品合格率 [(B)/(A)×100(%)]

(4) 精液払出状況

(本)

品種	区分	26年										27年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
黒毛和種	払出	134	212	249	579	10	205	465	277	295	258	262	141	3,087	
無角和種	払出	4	22	30	20	0	0	30	31	10	0	0	12	159	
和種	払出	17	99	11	0	0	20	92	15	38	63	5	18	378	
計	払出	155	333	290	599	10	205	587	323	343	321	267	171	3,624	

注：他に指定交配、場内使用、廃棄等の本数が453本（黒毛397本，無角50本，和種6本）

2) 山口の牛づくり推進事業

(1) 固有品種振興部分

本県の固有品種である無角和種及び見島牛について、凍結精液の生産とPRにより振興を図る。

ア けい養種雄牛・育成牛

(平成27年3月31日現在)

品 種	名 号	登録番号 (得点)	生年月日	産 地	血統		取得 年月日	種畜証明書 番号
					父	母		
無角 和種	生高豊	無 89 (82.8)	21. 3. 13	山口県	生 歌 無 79	たけこま 無 10582	21. 10. 27	11246846926
和 種	秋 幸	—	20. 10. 29	〃	幸 峰	さちふく2	21. 10. 27	11240157547
	良志福	—	24. 3. 30	〃	福 金	よしひめ	24. 12. 12	11246277843
	萩太郎	—	25. 5. 26	〃	正 登	さちこ	25. 10. 1	10858269550

(2) 産肉能力直接検定

産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため、「山口の牛づくり推進事業実施要領」に基づき種雄牛候補の産肉能力直接検定を実施した。

ア 検定頭数及び期間

年 度—回 次	検定牛 No	頭数	検定期間(112日間)
平成 25— 2	25— 2～ 4	3	H26. 1. 15～H26. 5. 7
平成 26— 1	25— 5～ 7	3	H26. 4. 23～H26. 8. 13
	25— 8、26— 1・2	3	H26. 6. 11～H26. 10. 1
	26— 3～ 5	3	H26. 7. 16～H26. 11. 5
	26— 6・ 7	2	H26. 11. 5～H27. 2. 25
	26— 8	1	H27. 3. 18～H27. 7. 8

イ 検定成績

(H27. 3. 31 現在)

検 定 牛 No.	品 種	名 号	開 始 時 日 齢	体 重		D G	余剰飼料摂取量			発 育 価 評 価 時	体 型 質 評 価
				180 日 齢 補 正	365 日 齢 補 正		濃 飼	粗 飼	T D N		
			日	kg	kg	kg	kg	kg	kg		点
● 25-2	黒和種	北斗	242	217	450	1.29	-114	-61	-98	3(5)	82.76
● 3	〃	勝美	218	222	458	1.29	-81	-57	-79	5(4)	85.02
● 4	〃	日置牛力5	201	178	406	1.26	-61	-22	-54	4(5)	83.52
□ 5	〃	稲妻	253	205	373	0.88	-32	82	-12	2(3)	81.74
□ 6	〃	明大	239	198	337	0.81	-25	49	-13	2(3)	81.36
● 7	〃	今出菊	216	201	360	0.84	-49	6	-38	3(5)	83.04
□ 8	〃	桜久勝	244	203	362	0.81	-45	-22	-52	2(3)	82.18
□ 26-1	〃	紫平福 78	210	236	428	1.02	-13	89	-1	3(5)	81.68
● 2	〃	照平重	202	249	397	0.78	-64	-38	-59	4(5)	83.06
□ 3	〃	守	233	246	421	0.97	-16	97	-1	3(5)	82.46
□ 4	〃	夏百合	222	291	488	1.06	-41	103	-16	5(4)	82.92
● 5	〃	滝誠東	200	221	389	0.89	-59	-49	-59	3(5)	83.36
● 6	〃	高春久	230	159	320	0.93	13	98	21	3(5)	82.12
□ 7	〃	長門之花	225	154	338	1.09	-25	31	-19	2(3)	81.86
○ 8	〃	姫白清	218								

注) ●: 選抜牛、○: 検定中、▲: 検定中止、◇: 検定準備中、□: 肥育又は調整でけい養中

(3) 産肉能力現場後代検定

産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため、「山口の牛づくり推進事業実施要領」に基づき種雄候補牛の産肉能力現場後代検定を実施した。

ア 検定牛

検定種雄牛	品種	血統		直接検定成績 (DG)	現場検定期間
		父	母		
美津安	黒毛和種	美津福	ゆみ	1.19	24.9.14~26.5.27
翔龍	〃	美津神	よしひらひめ	1.35	25.1.24~26.10.17

イ 検定成績

項目	検定種雄牛						
	美津安		翔龍				
	去勢	雌	去勢	雌			
検定頭数(頭)	8	7	12	5			
枝肉成績	枝肉重量(kg)	468.2	459.4	499.5	490.2		
	歩留基準値(%)	74.0	73.3	74.0	74.1		
	皮下脂肪厚(cm)	2.9	3.2	2.3	2.4		
	バラの厚さ(cm)	7.8	7.6	8.2	7.9		
	脂肪交雑 (No)	7.5	7.7	6.0	6.2		
	ロス芯面積(cm ²)	60.1	57.4	57.8	59.2		

3) 畜産バイオテクノロジー推進事業

畜産技術部がメインセンターとなり、供卵牛の飼養管理、採卵、凍結保存を行い、受精卵を山口県畜産振興協会を通じ、県下へ有償配布を行った。

(1) 供卵牛

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

品種	名号	登録番号	生年月日	血統		産地
				父	母方祖父	
黒毛和種	ふくみ	黒原 1002574	H 7. 4. 9	平茂勝	神高福	鹿児島県
	かつこ	黒原 1096887	H10. 2. 16	福桜	糸秀	宮崎県
	さちよ	黒原 1096889	H10. 4. 2	安平	隆桜	宮崎県
	きみこ	黒原 1096891	H10. 3. 29	福桜	糸秀	宮崎県
	とくまつえい	黒原 1185800	H12. 4. 16	平茂勝	菊安土井	山口市
	ひらよします	黒 2061729	H12. 6. 1	平茂勝	義久	岩国市
	ひらみ	黒原 1210098	H12. 9. 27	平茂勝	安福	防府市
	はるな	黒原 1216973	H13. 4. 13	平茂勝	安福 165 の 9	萩市
	かつよし	黒原 1255000	H14. 3. 20	平茂勝	糸晴	長門市
	はるかつ	黒原 1255003	H14. 6. 24	平茂勝	糸晴	下関市
	ふくはる	黒原 1255004	H14. 7. 28	幸春	北国 7 の 8	長門市
	ひらしげ	黒原 1262547	H14. 11. 4	平茂勝	安福	岩国市
	よしみつ	黒原 1280780	H14. 11. 21	美津福	平茂勝	山口市
	みつやすふく	黒 2205445	H16. 3. 20	美津照	北国 7 の 8	長門市
	かみよし	黒原 1355612	H17. 5. 26	美津神	北国 7 の 8	美祢市
	みずぎ	黒 2274484	H18. 3. 14	茂重桜	平茂勝	下関市

きたいけ	黒原 1390026	H18. 5. 14	北仁	高栄	下関市
ひらしげすず	黒原 1390027	H18. 6. 29	東平福	北国7の8	長門市
ひらみす	黒原 1390028	H18. 7. 29	美津福	平茂勝	長門市
ひろみ	黒原 1390029	H18. 9. 17	美津神	平茂勝	萩市
はぎきたひら	黒 2083022	H13. 3. 24	北国7の8	平茂勝	萩市
はるかつ	黒 2072100	H12. 8. 17	平茂勝	糸光	下関市
とくさちこ	黒原 1174084	H12. 3. 20	平茂勝	義久	山口市
ひらかね	黒 2061724	H12. 6. 26	平茂勝	安福	岩国市
たかくら	黒 2129122	H14. 4. 20	安平	平茂勝	宮崎県
よしいくぞう5	黒原 1087586	H10. 5. 31	平茂勝	義久	萩市
いとひら	黒原 1561477	H22. 7. 5	東平福	平茂勝	長門市
なつめ	黒原 1561478	H22. 12. 8	白清85の3	福之国	岐阜県
あきの	黒 2415802	H22. 12. 20	白清85の3	平茂勝	岐阜県
おうどりい	黒 2431766	H23. 10. 10	茂洋	第1花国	宮城県
しげみねあさ	黒 2431767	H23. 11. 12	茂重安福	平茂勝	長門市
きたの658	黒原 1624113	H24. 11. 13	安福久	金幸	鹿児島県
かつ	2014子飛黒917	H26. 4. 22	花清国	勝忠平	岐阜県
あさみ	黒原 1327566	H16. 9. 22	安糸	福桜	畜産技術部
たまふく	黒 2236048	H17. 9. 2	晴美桜	第20平茂	鳥取県
2ゆさちふく	黒 2156688	H15. 4. 5	幸春	谷福土井	長門市
ひめきた	黒原 1418293	H19. 2. 2	北次郎	平茂勝	山口市
あきるみ	黒 2302721	H19. 3. 5	嘉高法	平茂勝	山口市
きみひめ24	黒原 1589258	H24. 1. 16	平茂勝	安福165の9	畜産技術部
しらきよひさ	黒 2451651	H24. 11. 22	安福久	白清85の3	畜産技術部

(2) 廃用供卵牛

品 種	名 号	登録番号	生年月日	血 統		廃 用 年月日
				父	母方祖父	
黒毛和種	へきしげくに	黒原 1292443	H15. 8. 23	平茂勝	北国7の8	H26. 6. 20
	よしながざくら	黒原 1309588	H15. 12. 17	茂重桜	平茂勝	H26. 4. 14
	ひらふく	黒原 1368387	H17. 9. 5	平茂勝	北国7の8	H26. 4. 14
	よしふく165	黒高 200820	H 7. 3. 6	安福165の9	糸光	H26. 4. 22
	そなあ	黒原 1477902	H20. 8. 7	平茂勝	第7糸桜	H26. 5. 1
	よしやす	黒 2016109	H 9. 3. 20	北国7の8	糸藤(鹿児島)	H26. 12. 2
	やすこ	黒原 1547997	H22. 6. 24	安茂勝	平茂勝	H26. 7. 14
	みつひめ99	黒原 1152085	H11. 7. 21	美津福	神高福	H26. 4. 22
	さちはる	黒原 1210100	H12. 11. 21	幸春	糸晴	H26. 4. 22

(3) 受精卵採取成績

品 種	過剰排卵 処理頭数	卵回収		回収卵数	正常卵数
		実施頭数	成功頭数		
黒毛和種（場内）	16	16	15	133	102
黒毛和種（現地）	5	5	5	37	29
無角和種（場内）	0	0	0	0	0
計	21	21	20	170	131

(4) 受精卵供給状況

供給先	黒毛和種		無角和種		性判別		体外受精		計
	新鮮	凍結	新鮮	凍結	黒毛	ホル	新鮮	凍結	
畜産技術部	0	17	0	0	0	0	0	0	17
畜産技術部育成業務課	0	0	0	0	0	0	0	0	2
東部家畜保健衛生所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部家畜保健衛生所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部家畜保健衛生所	0	1	0	0	0	0	0	0	1
北部家畜保健衛生所	0	1	0	10	0	0	0	0	11
畜産振興協会	0	99	0	0	0	0	0	0	97
計	0	118	0	10	0	0	0	0	128

注) 畜産振興協会への供給は有償、それ以外は無償(試験)。

4) 委託事業

◎ソルガム類及びイタリアンライグラスの品種比較試験

(1) 目的

山口県に適するソルガム類及びイタリアンライグラスの生育・収量特性について比較検討し、県奨励品種選定に当たっての基礎資料とするとともに、農家における奨励品種作付け拡大を推進するための指導用基礎資料とする。

(2) 方法

ア ソルガム類

ア) 供試品種：10品種

スーダングラス：スーパーシート、ドライスーダン

スーダン型：ブラウントウミツ、ウインドブレイク、BMRシート

ソルゴー型：秋立、スーパーシュガーソルゴー、甘味ソルゴー

子実・兼用型：高消化ソルゴー、ミニソルゴー

イ) 試験区：1区面積9㎡、3反復

ウ) 播種法：条播(条間60cm、播幅15cm)、2kg/10a

エ) 施肥量：基肥N:P:K=10:15:10(kg/10a)、追肥N:P:K=10:10:10(kg/10a)

オ) 試験期間：平成26年6月20日～平成26年10月3日

イ イタリアンライグラス

ア) 供試品種：10品種

- 極早生品種：さちあおば、ワセフドウ
 早生品種：優春、ワセユタカ、KA45、JFIR20
 中生品種：タチムシャ、ナガヒカリ
 晩生品種：ヒタチヒカリ、アキアオバ

- イ) 試験区：1区面積4㎡、4反復
 ウ) 播種法：散播、2.5kg/10a(2倍体品種)、4.0kg/10a(4倍体品種)
 エ) 施肥量：基肥N:P:K=10:15:10(kg/10a)、追肥N:P:K=5:5:5(kg/10a)
 オ) 試験期間：平成25年10月15日～平成26年6月6日

(3) 結果の概要

ア ソルガム類 (表1)

乾物収量は、スーダングラスとスーダン型ではそれぞれの品種間に差はなく、ソルゴー型では「秋立」が他の2品種に比べて劣った。兼用型では「高消化ソルゴー」の乾物収量が「ミニソルゴー」に比べて多収であった。

イ イタリアンライグラス (表2)

合計乾物収量は、同一早晩性品種間に差はなかったが、2番草の乾物収量は、極早生品種では「さちあおば」、早生品種では「優春」、中生品種では「ナガヒカリ」が多収であった。「ワセユタカ」は他の早生品種間との収量差はなく、晩生は品種間に差はなかった。

表1 ソルガム類の収量調査結果

タイプ	品種名	草丈 (cm)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	稈径 (mm)	茎数 (本/㎡)	生草収量 (kg/a)	乾物率 (%)	乾物収量 (kg/a)
スーダングラス	奨) ドライスーダン	259.6 ^a	—	—	8.3	96.7	625.8 ^a	24.2	151.7
	スーパーシート	245.8 ^b	—	—	8.2	87.3	524.4 ^b	22.8	119.6
スーダン型	奨) ブラウントウミツ	—	204.8	26.5	9.4 ^B	31.1	561.8 ^b	25.7	144.5
	奨) ウインドブレイク	380.8	—	—	16.0 ^A	20.2 ^b	776.9 ^a	21.8	169.0
ソルゴー型	奨) BMRシート	—	196.6	25.9	10.5 ^B	37.8 ^a	601.8	24.8	149.3
	秋立	—	247.2 ^B	19.5 ^B	14.5	31.6	635.1 ^b	27.0 ^b	171.7 ^{Bb}
兼用型	奨) スーパーシュガーソルゴー	—	301.8 ^A	24.8 ^A	15.2	25.3	841.6 ^a	28.0	235.3 ^a
	奨) 甘味ソルゴー	—	298.8 ^A	24.9 ^A	15.8	30.4	884.7 ^a	31.0 ^a	273.9 ^A
兼用型	奨) ミニソルゴー	—	139.1 ^B	25.3 ^a	14.3	48.7	497.8 ^b	32.2	160.3 ^b
	高消化ソルゴー	—	220.8 ^A	23.4 ^b	14.7	28.4	628.4 ^a	30.4	191.0 ^a

注1) 奨)：山口県奨励品種

注2) 縦列タイプ間内アルファベット異文字間に有意差(大文字；p<0.01、小文字；p<0.05)あり。

表2 イタリアンライグラスの収量調査結果

品種名	生草収量(kg/a)			乾物率(%)		乾物収量(kg/a)			
	1番草	2番草	合計	1番草	2番草	1番草	2番草	合計	
極早生品種	奨) さちあおば	330.8	236.8 ^a	567.5	15.7	15.0 ^a	52.0	35.6 ^a	87.5
	ワセフドウ	329.5	193.5 ^b	523.0	17.8	14.2 ^b	58.5	27.5 ^b	86.0
早生品種	奨) ワセユタカ	399.0	203.0	602.0	19.6 ^b	14.3	77.4	29.1	106.4
	優春	432.3	235.8 ^a	668.0	20.6	14.9	88.4	35.0 ^a	123.5
中生品種	KA45	400.8	195.8	596.5	20.5	14.4	81.6	28.2 ^b	109.8
	JFIR20	298.8	191.3 ^b	490.0	22.4 ^a	15.1	66.2	28.8 ^b	95.0
晩生品種	奨) タチムシャ	440.5	246.0 ^B	686.5 ^b	22.5 ^a	16.7 ^A	99.4	41.1 ^b	140.5
	奨) ナガヒカリ	606.5	363.8 ^A	970.3 ^a	19.2 ^b	13.3 ^B	115.7	48.3 ^a	164.0
晩生品種	奨) ヒタチヒカリ	533.3	304.5	837.8	18.0	13.9	95.1	42.2	137.2
	奨) アキアオバ	409.3	354.8	764.0	18.2	13.8	74.3	49.0	123.3

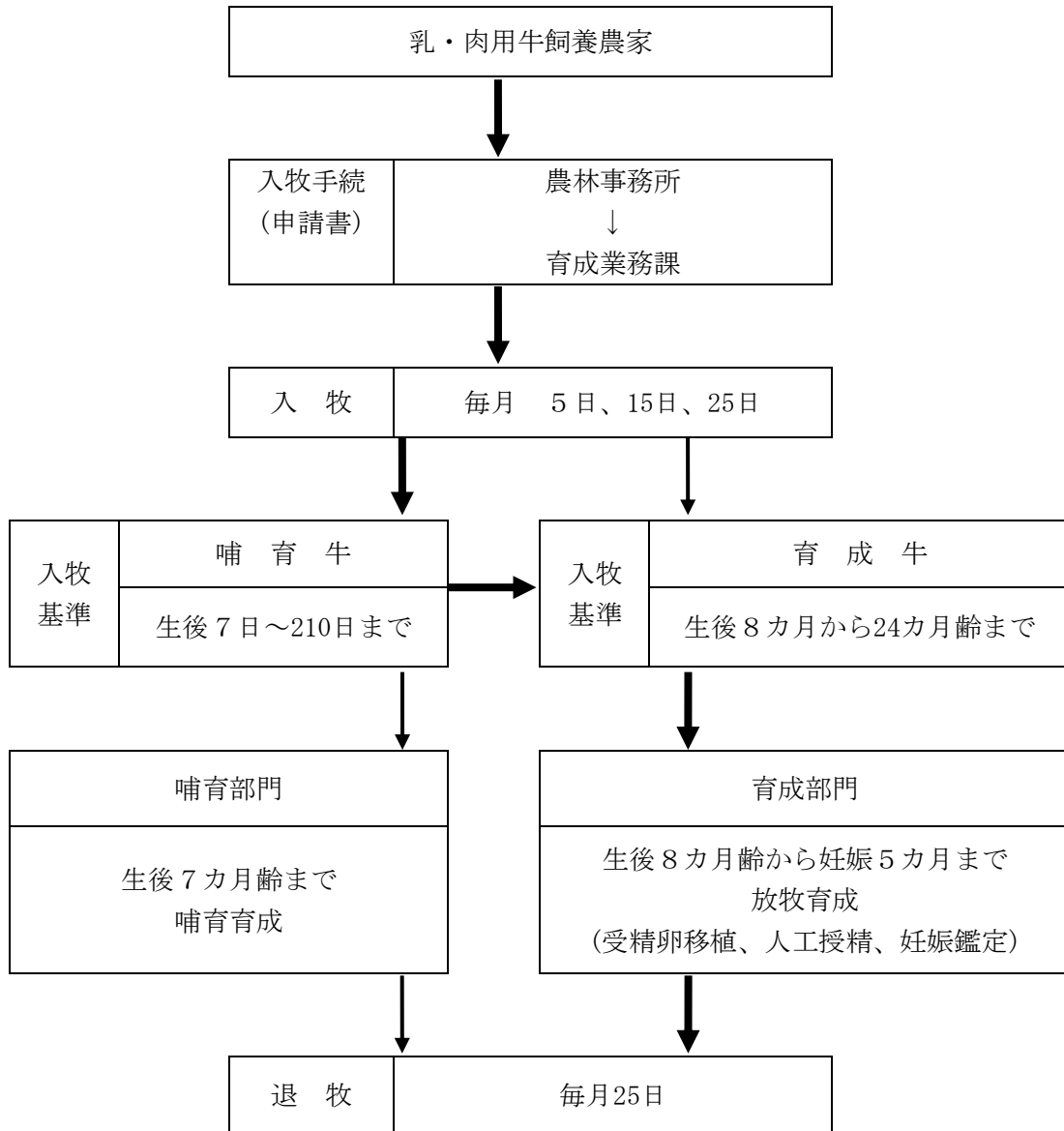
注1) 奨)：山口県奨励品種

注2) 縦列同一早晩性品種間内アルファベット異文字間に有意差(大文字；p<0.01、小文字；p<0.05)あり。

3 預託育成事業

1) 仕組みと預託料

育成体系



預託料金一覧表

(1頭1日当たり：円)

種 類		夏期 (4月~10月)	冬期 (11月~3月)	備 考
哺 育	乳用牛	630	630	精液料、授精料、診療及び予防注射、検査料、搬出入の経費は別とする。
	肉用牛	630	630	
育 成	乳用牛	510	630	
	肉用牛	410	510	

2) 退牧牛の受胎状況

(1) 受精卵移植

(単位:頭、%)

区分	移植頭数	受胎頭数	受胎率	目標※
有償卵	17	6	35.3%	50%
試験卵	0	0	0.0%	
計	17	6	35.3%	

※) 山口県の設定目標

(2) 人工授精

(単位:頭、%)

区分	授精頭数	受胎頭数	受胎率	不受胎※1	妊否不明※2	目標
乳用牛	153	139	90.8%	14	0	90%
肉用牛	26	20	80.0%	7	1	—

※1) 不受胎牛(乳用牛14頭、肉用牛7頭)は、継続してH25年度に授精及び授精中。

※2) 妊否不明1頭は、妊娠鑑定前退牧による。

(3) 退牧牛の授精状況

(単位:頭、%)

家畜別		退牧頭数	受胎頭数	不受胎頭数	その他	内訳
乳用牛	頭数	141	137	1	3	死亡2, 廃用1
	構成比	100.0%	97.2%	0.7%	2.1%	
肉用牛	頭数	28	20	7	1	妊鑑前退牧1
	構成比	100.0%	71.4%	25.0%	3.6%	

注) 乳用牛のその他は、死亡2頭、廃用1頭。

肉用牛のその他は、妊娠鑑定前退牧1頭。

4) 預託頭数

(1) 哺育牛+育成牛

年月	入 牧		哺育満了		期間中退牧		死亡・事故		月末頭数	
	乳用牛	肉用牛	乳用牛	肉用牛	乳用牛	肉用牛	乳用牛	肉用牛	乳用牛	肉用牛
繰越	246	26	0	0	0	0	0	0	246	26
24年 4月	11	1	6	4	15	8	0	0	242	19
5月	6	2	16	0	12	0	0	0	236	21
6月	10	0	18	1	14	2	1	0	231	19
7月	10	2	15	2	6	7	1	0	234	14
8月	21	5	13	0	10	1	0	0	245	18
9月	15	2	14	0	7	2	0	0	253	18
10月	13	3	7	1	16	2	0	0	250	19
11月	9	3	11	1	7	2	1	0	251	20
12月	14	1	8	1	12	1	0	0	253	20
25年 1月	8	0	7	0	15	2	0	0	246	18
2月	5	4	15	1	6	2	0	0	245	20
3月	19	4	15	4	17	4	0	0	247	20
計	387	53	145	15	137	33	3	0	3,179	252

4 農林事務所との連携業務

(1) 平成 26 年度連携業務課題

農林事務所	課 題 名	担当グループ
岩 国 柳 井 周 南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良質粗飼料生産に係る技術支援 ・ 山口型放牧の推進－新規耕種農家への普及推進－ 	飼料・環境 山口型放牧
山 口 美 祢	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酪農経営への技術・経営支援 ・ あとう和牛振興センターを中心とした肥育技術支援 ・ 水田放牧における飼料作物栽培技術 	特産開発 やまぐち和牛改良繁殖 山口型放牧
下 関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山口型放牧の取り組み支援 ・ 硝酸態窒素及びK₂O過剰の問題を抱える飼料作物栽培圃場の改善方法等の検討 ・ 乳用牛群検定普及定着化事業に係る現地指導および酪農経営改善指導への取り組み支援 	山口型放牧 飼料・環境 特産開発
長 門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長州黒かしわの生産支援 ・ 山口型放牧を活用した耕作放棄地の再生利用支援 	特産開発 山口型放牧
萩	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無角和種の低コスト生産と振興 ・ 見島ウシを活用した地域振興 	飼料・環境、家畜改良 飼料・環境、家畜改良

(2) 指導実績

連携業務課題名	指導回数	備 考
山口型放牧現地指導	5 2	現地指導(説明)、放牧牛の貸出、放牧用草種確認
肥育技術指導	7	肥育技術指導、超音波肉質調査、現地経営指導
酪農経営への技術支援	7 0	飼養管理技術現地指導、経営検討会
飼料作物関係技術支援	1 2	飼料作物栽培・調製・利用指導、乾草サイレージ共例会
無角和種振興技術支援	1 3	低コスト生産協議、公社総会
見島牛振興技術支援	3	特産牛会議等
養鶏関係生産技術支援	2 3	長州黒かしわ生産技術支援
合 計	1 8 0	

5 研修・指導

1) 研修・講習等（場内）

研 修 名	参加者・人数
山口大学 6 年生臨床実習	学生 32 名、職員 4 名
山口県粗飼料生産部会研修	農家 25 名
畜産関係職員研修(即戦指導力養成)	公務員 3 名
畜産関係職員研修(基礎指導力養成)	公務員 9 名
農林水産政策課・畜産振興課視察	公務員 3 名
県立大学校職員視察	公務員 2 名
美東中学校・伊佐中学校職場体験学習	生徒 3 名
畜産農家視察	農家 3 名
宮崎県小林市放牧視察研修	公務員 2 名
精液貯蔵所調査指導担当者研修会	公務員 7 名, 団体 1 名
山口大学 5 年生繁殖実習	学生 33 名
北海道受託農家視察	農家 5 名, 団体 1 名
繁殖検診個別研修	公務員 2 名, 団体 1 名
県内企業肥育視察	一般 2 名
大学生視察研修	学生 2 名, 農家 1 名
畜産農家視察	農家 1 名, 一般 2 名
酪農青年女性会議役員研修	農家 5 名, 団体 4 名
家畜審査研修	公務員 1 名
J A 備北視察研修	農家 17 名
青嶺高校インターンシップ	生徒 5 名
山口県受精卵移植研究会実技研修会	公務員 14 名
但馬農協みかた和牛会視察研修	農家 11 名
豊田前中学校職場体験学習	生徒 1 名
家畜繁殖技術研修会	公務員 9 名
筑波大学生放牧視察研修	学生 1 名
大内中学校職場体験学習	生徒 1 名
酪農青年女性会議役員研修	農家 4 名, 団体 2 名
欧州獣医学教育協会視察	一般 10 名
農林水産省職員視察	公務員 6 名
石井手保育園見学	園児 23 名, 一般 3 名
第 11 回全国和牛能力共進会に係る種雄牛展示会	農家 45 名, 関係機関 88 名
畜産関係職員研修(基礎指導力養成)	公務員 6 名
家畜人工授精師養成講習会	学生 12 名, 農家 5 名
能勢農場放牧研修	一般 2 名
広島市農業委員会放牧視察	一般 12 名
肉用牛入門講座	一般 5 名, 団体 3 名
高梁市農業委員会放牧視察	一般 25 名
静岡畜産技術研究所視察	公務員 1 名

研 修 名	参加者・人数
センター若手中堅職員養成研修	公務員 9 名
山口県受精卵移植研究会第 2 回研修会	公務員 8 名
法政大学生放牧研修	学生 1 名
農業大学校生視察研修	学生 16, 公務員 4
預託牛研究会	農家 9 名, 団体 6 名
関東甲信越酪肉経営技術研究会	団体 13 名
養鶏研修(羽鑑)	団体 2 名
新採合同職員研修	公務員 4 人
酪農研修会	農家 18 名, 学生 3 名, 団体 12 名, 公務員 13 名
徳之島支部運営協議会視察	公務員 8 名
大津地区組合視察研修	農家 4 名, 団体 1 名
ファームノート研修会	農家 14 名
酪農語る多会	農家 33 名, 団体等 16 名
全酪連受託農家視察	農家 1 名, 団体 4 名

2) 月別の研修及び見学・参観等人数

区分	月	26年									27年			合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
見学・参観等 (一般)		22		3	4	1	3	1	2	1					37
研 修 ・ 講 習	一 般				4			13	44						61
	学生・生徒		35	33	7	1	2	23	12	17	3				133
	農 家		25	18	39			4	50	14	18	51	1		220
	官公庁・団体		21	25	28	9	19	8	107	36	29	25	14		321
	小 計		81	76	78	10	21	48	213	67	50	76	15		735
合 計		22	81	79	82	11	24	49	215	68	50	76	15	772	

6 飼養頭数 (平成 27 年 2 月 1 日現在)

(1) 肉用牛

: 頭

項 目	種雄牛	繁殖雌牛	肥育牛	子牛	計
黒毛和種	12	99	60	37	208
無角和種	1	13	2	1	17
見島牛	3	(3)			3(3)
交雑種		11			11

注: ()内は分散飼育頭数

(2) 乳用種

: 頭

項 目	育成牛	子牛	計
乳用種	39	45	84

注) 育成業務課の預託牛

(3)豚

:頭

項目	種豚雄	種豚雌	肥育・子豚	計
大ヨークシャー種	2	1		3
ランドレース種	1	2		3
デュロック種	4			4
交 雑 種		1 4	1 3 7	1 5 1

(4)鶏

:羽

項目	種鶏雄	種鶏雌	ヒナ	ブロイラー等	計
肉用鶏	2 2 8	5 6 1	5 4 0	7 6 0	2, 0 8 9

8 草地維持管理及び飼料作物の生産

1) 本場(河原、岩永台)

ほ場は、岩永台の中南部に位置するカルスト台地と同台地の南端部の西高南低の傾斜面の2団地に分かれ、台地上はドリーネが発達し、カレン等の障害物が随所に散在した極めて起伏に富む丘陵地で、土壌は一部粘板岩を含み、石灰岩を母岩とする赤色粘質土壌である。南部の河原は一部の平坦地と中央の2ヶ所に飼料畑があり、土質はやや腐植に富む粘質土壌である。

台上の草地は102.6haで、採草利用12.9ha、放牧利用89.7haであり、南部の河原ほ場は40.7haで、採草利用28.2ha、放牧利用等6.5haとなっている。

粗飼料生産に用いたほ場の総面積は143.8ha、生産量は生草換算で3,216tとなった。

作物名	栽培面積(ha)	収穫量(t)	備考
イタリアンライグラス他	41.1	1,433	生草換算
ミレット・ヒエ類他	6.5	65	〃
野草	96.2	1,718	〃
合計	143.8	3,216	〃

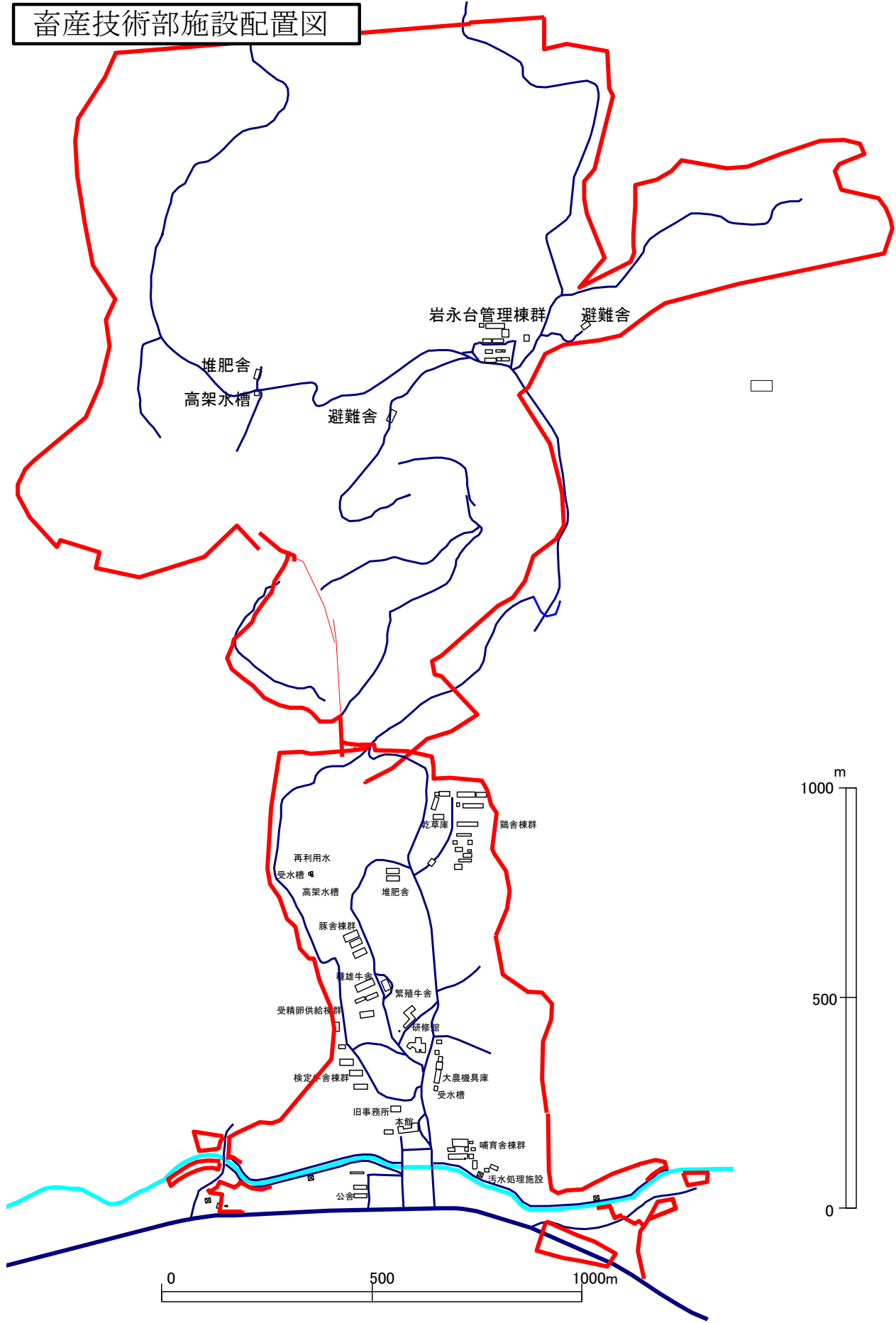
2) 育成業務課

今年の天候について、6月～7月中旬は梅雨前線の影響により、8月は台風や前線の影響により曇りや雨の日が多く、局地的に大雨となる日があった。7月下旬は高気圧に覆われて猛暑日となることがあったが、全般的に夏季の日照時間は少なかった。そのため、乾草及びサイレージの調製が8月以降に伸びたことから、本年度の調製量は前年に比べて減少した。

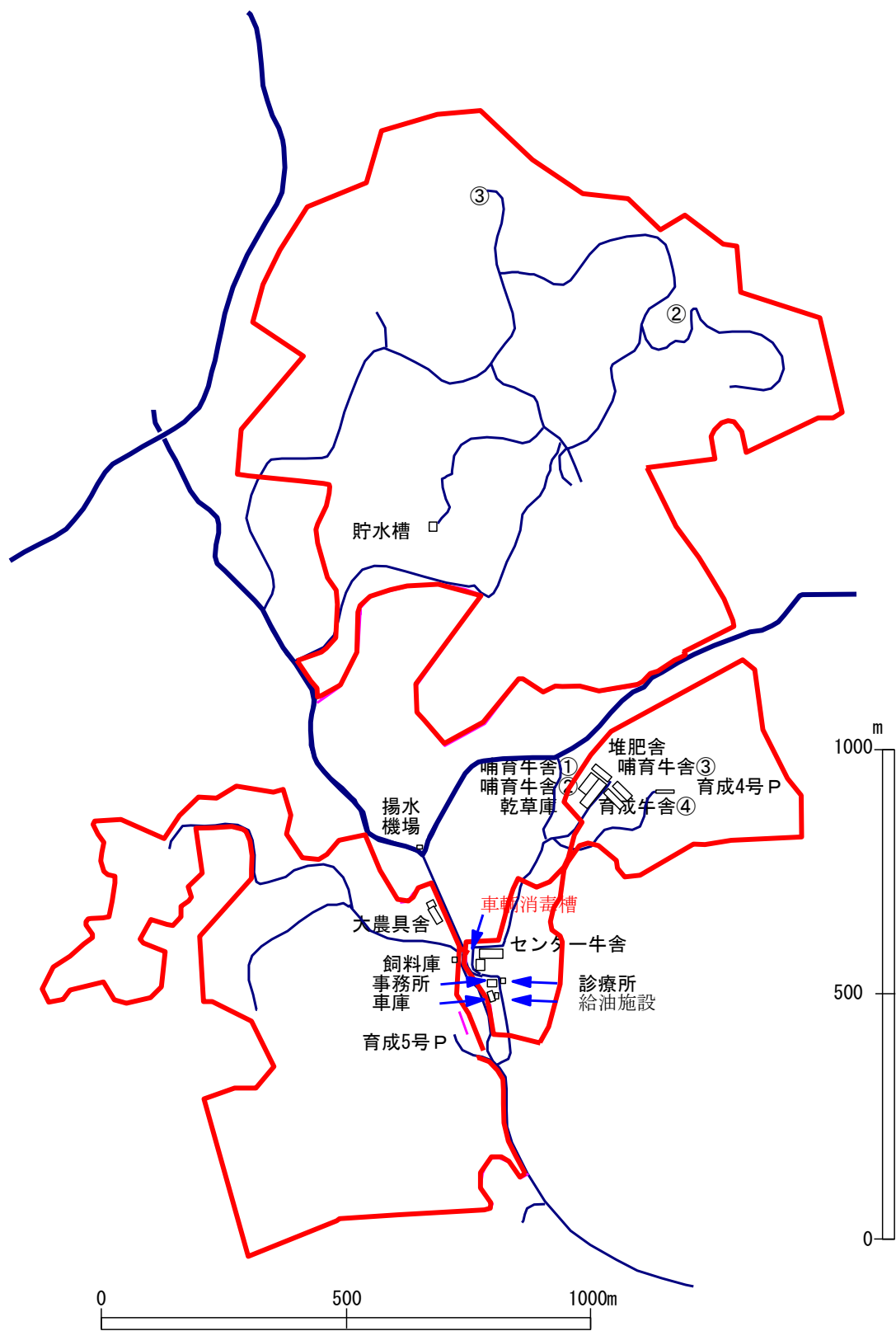
それぞれの調製量は生草換算でサイレージ1,177t、乾草984tとなった。

項目	140cm ロール(個)	120cm ロール(個)	生草換算(t)
サイレージ(水分:約45%)	849	1,189	1,177
乾草(水分:約12%)	639	895	984
合計	1,488	2,084	2,161

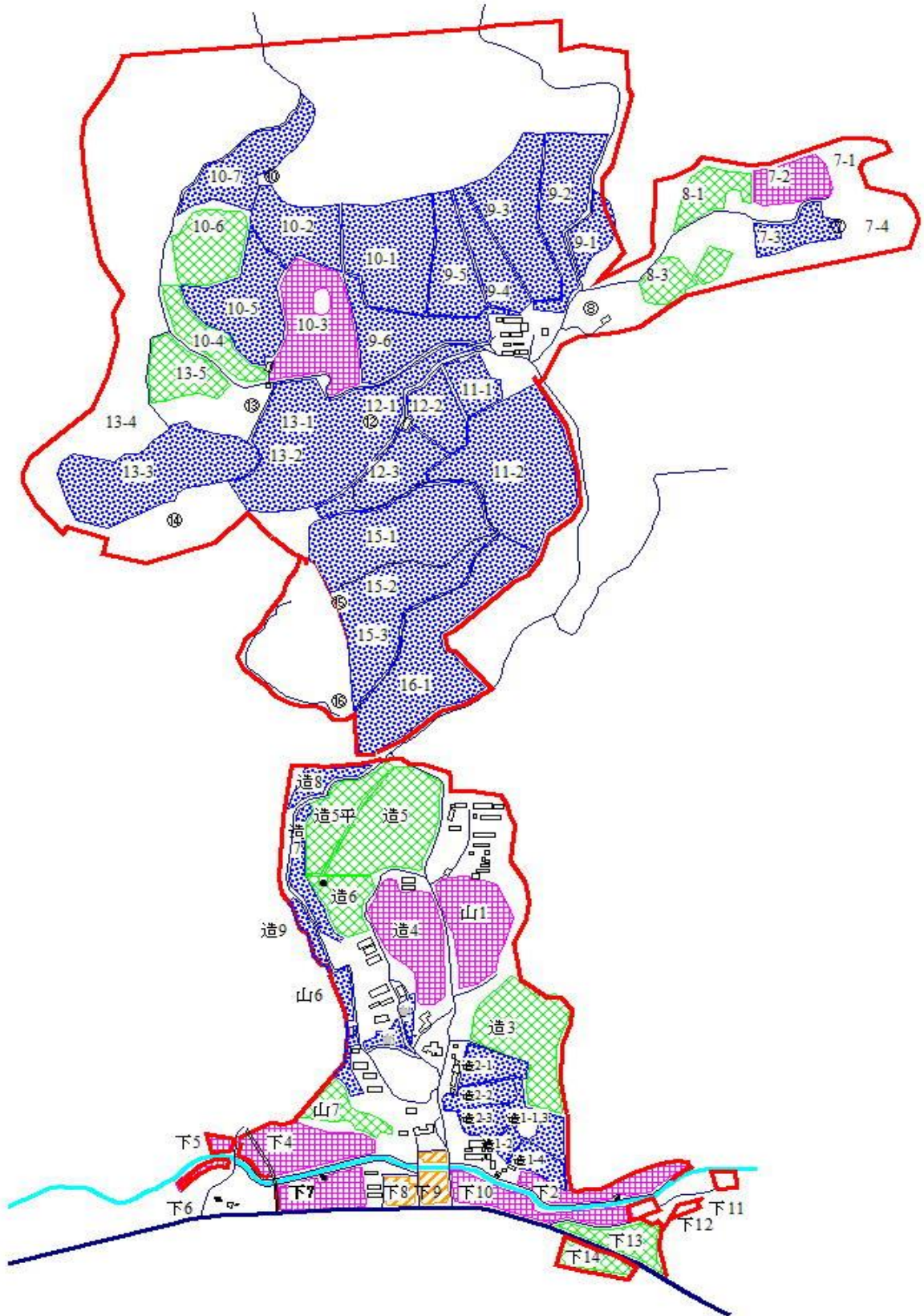
畜産技術部施設配置図



施設配置図
(育成業務課)



ほ場の略図
(岩永台・河原)



(育成業務課)

